

注目される全人代後の株価の動き

Raku
Yomi

楽読(ラクヨミ)

nikko am
fund academy

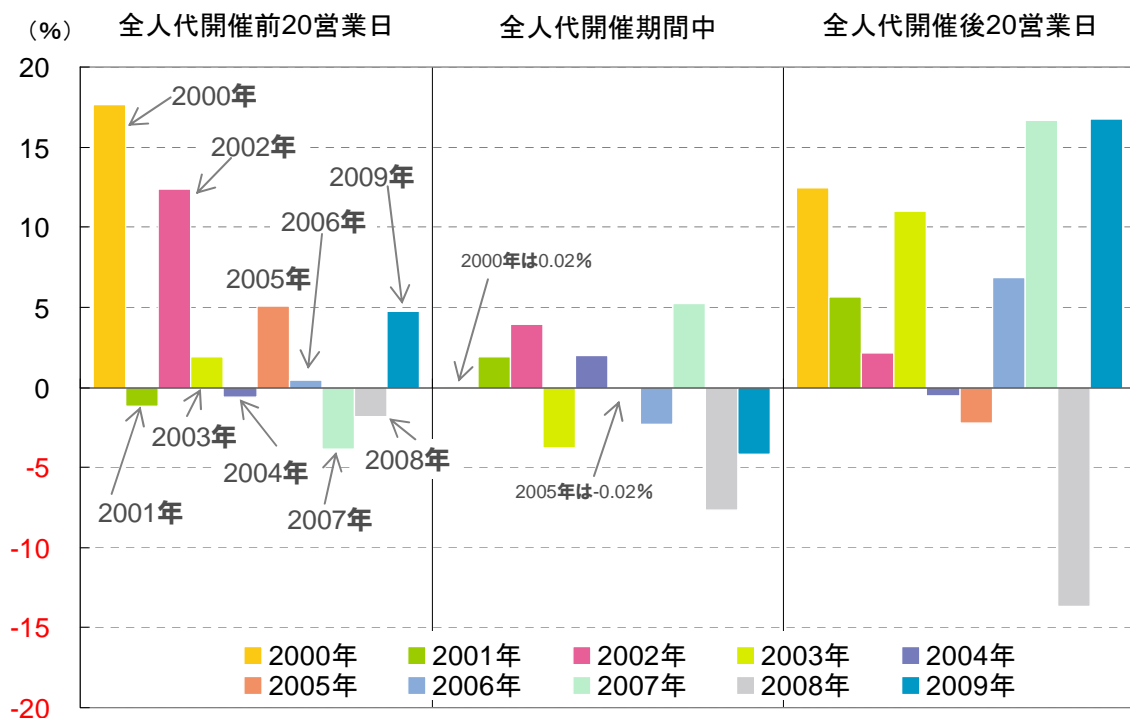
中国の全国人民代表大会(全人代、国会に相当)が5日に開幕しましたが、開催期間中(3月5日~14日)となる今週の中国株式市場は、全人代が打ち出す経済政策などを見極めようとの思惑から、手控えムードが広がる可能性があります。

過去においても全人代の開催期間中は、膠着感が強い展開となっていたようです。

下図の上海総合株価指数の騰落率を見ると、全人代の開催期間中は、全人代の開催前後20営業日と比べ、おおむね小さくなっています。期間中は、どのような政策が打ち出されるのか、株式市場はどのように反応するのかなど、様子見気分が強い展開となりやすいことが背景にあるとみられます。全人代の開催前後20営業日の動きを見ると、開催前は、傾向的な動きを見つけることは出来ませんが、開催後は、比較的大きな動きとなっていることがわかります。全人代の開催期間中に手控えられていた売買が活発化する傾向にあり、全人代で打ち出された経済政策などが評価される、あるいは、明らかになった年度予算案の増減などから、それらに関連する銘柄が買われやすい(売られやすい)傾向があるのかもしれません。

今回の全人代の政府活動報告で、温家宝首相は、農村部の発展支援など消費主導で内需拡大をめざす方針を表明し、積極財政と適度な金融緩和を継続する方針を示しました。全人代後の株式市場の動きが注目されます。

中国・上海総合株価指数の騰落率(2000年~2009年)



※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成
※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。